

# 議会だより



表紙：ジュリアン・ジーリ（夫・33歳）、ロベル・オーレリ（妻・36歳）  
なおみ（4歳）、いうえん（2歳）

## Contents

- **生活を守る** 12月補正予算 ..... 4  
三方五湖の魅力を全国に発信  
新幹線開業 タクシー& JR  
・小浜線に乗って新幹線を見に行こう  
◎福祉サービスの安定的な提供  
◎町民がいこう芝生広場をめざして  
議会と語ろう会研修「町会議員のあり方」 ..... 3

- **巻頭インタビュー** フランスから美浜町に!! ..... 2  
日本の良さを良く知る一家4人が移住  
◀美しい日本の風景をこよなく愛する家族▶
- **議員視察** ..... 7  
難攻不落の国吉城を攻める  
山頂からの景観を美浜町の観光に生かす
- **美浜町20歳のつどい** ..... 16

# フランスから美浜町へ

自然の豊かさにひかれて移住

## プロフィール

ジュリアン・ジューリ (カメラマン)  
ロペル・オーレリ (ジャーナリスト)  
なおみ (4歳)  
いうえん (2歳)

## ●議会の課題

- ★外国人移住者支援
- ★観光資源を活用した  
交流人口の拡大

## ボンジュール!

## シリーズ 第8回 がんばる人



子どもにとっては初めての雪あそび



夫婦で出版した日本の観光ガイド本

Q: 日本に来たきっかけは

A: 私達は、ジャーナリストと写真家のフランス人カップルです。2015年に、旅行で始めて日本を訪れました。日本を描いていたイメージは、東京の様な町の風景でしたが、郊外には温泉や祭りなどの伝統文化があり、自然豊かな景色に驚きました。日本には永く滞在する価値がある、固有の文化があると感じて、大分・沖縄・静岡・和歌山の各県の有機農場でボランティアとして働いて、6か月間滞在しました。2017年に日本平成百景を訪れるために日本に移り住みました。東京を本拠地として、旅に関するフランス人フリーランス、ライター兼写真家としての仕事をこなし、パートナー ロペル・オーレリと共に日本百景の47都道府県すべての探索を決定し「旅ノブノブ100」にその模様を発信。2018年秋にフランスで本が出版されました。2023年、仕事で出会った友人から、美浜町早瀬の古民家を紹介されて9月20日から家族で移住しました。

Q: 仕事の内容を教えてください

A: 地域活性化とマーケティングを行う(株)TAGETの取締役として、インバウンドコン

サルティング事業や地域創生関連事業を行いながら、欧米豪の富裕層向け旅行会社との連携やガイド紹介アプリ事業を展開しています。最近では、欧米豪のトラベルエージェンシーとガイダンス事業でのネットワークを行いながら業務を構築しています。

Q: 将来の目標はなんですか

A: 福井県にインバウンド&トラベル関連事業会社の設立を考えています。今求められている富裕層向けのインバウンドツーリズムを美浜に居住しながら、北陸、山陰の日本海側の魅力発信に貢献できたらと考えています。特に景勝地や魅力ポイントを活用した、ブライダルツーリズムも桂田美ミュージアムと連携して展開することを検討しております。

Q: 住み心地はどうですか

A: 緑豊かな山々や、日本海と湖等、豊かな自然に囲まれて、近所には立派なお寺や神社があるのでとても気に入っています。それに時々、猿が散歩に来たりします。(12月23日)は、雪が降り積もって、子ども達と雪だるまを作って遊びました。子育ての面でも理想的な環境です。

## 新年明けまして

おめでと〜いございます



美浜町議会議長 山口和治

みんなで創るまち、  
地域の活力を活かした  
まちづくりを目指して

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで、輝かしい新春を健やかに迎えにられましたことを心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は4月に美浜町レイクセンターが、6月に道の駅若狭美浜はまびよりが開業する等、町が大いに活気づく明るい1年となりました。

また、美浜町議会6月定例会におきましては、これからの本町議会のあり方等の調査検討を行うことを目的に「議員報酬など議会改革特別委員会」を設置いたしました。そして「開かれた議会」を目指す取り組みとして、11月に「議会と語ろう会」の研修会を美浜町生涯学習センターなびあすで開催し、今年も町民の皆さまと意見交換会が開催できるよう順次計画をしております。

これからの美浜町は、人口減少、少子高齢化が進み、ますます「地方創生」「地域の活性化」が大きな課題となりますが、より豊かな住みよいくさつくりを目指し、皆さまのご期待に応えるよう決意を新たにしております。本年も町議会に対し、相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。新しい年が皆さまにとって、ご健勝で幸多い素晴らしい年となりますよう心よりご祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 議会と語ろう会

11月18日開催

## 「今後の町村議会議員のあり方について」の研修会

11月18日に開催した「今後の町村議会議員のあり方について」の研修会には、町民30人以上が来場し、白鳥浩法政大学院教授の講演を聞きました。「町村議会のなり手不足の原因は、低い報酬額にあるのは明らかで、若者は魅力的に感じない」、「年金をもらってやっと生活が成り立つような環境では、議会の高齢化が進むのは当然だ」ということが、現地調査の研究結果として紹介されました。

先生の現地調査でわかったのは、人口が少ないから議員のなり手がいないのではなく、生活するには問題がある低い報酬額だからなり手がいないということになるようです。また、なり手不足と人口の大小は関係ないそうです。若者や女性が参画し、多様な議会議会をつくることすれば、現状のままではいけないということが町民のみならずにも伝わったと思います。



2023年の統一地方選後半戦で、改選のあった県内3つの町議選(池田町・おおひ町・高浜町)はすべて無投票でした。一方で県内でも比較的報酬額の高い、福井市議会や敦賀市議会では選挙となり、若い議員経験者が県議選や首長選に立候補するなど、地方議会が民主主義の学校として機能し、入れ替わるなり手がいることがわかりました。

年間の程度のお金が平均的な価値を示され、子どもを東京の大学に行かせるため、生活が成り立つ水準でないと勤労

額南では、福井市と比較して報酬や定数が少ない小浜市議会が無投票となり、敦賀市以外では、県議選も無投票という結果となっています。地方議会を民主主義の学校としてしっかり機能させる必要があります。無投票については、「無投票の議員はけしからん!」という声があるが、

果たして議員だけの責任なのか?というところが課題にあげられました。それについては、「住民にも責任があり、リスクしかないような状況において責任だけ議員に押し付けても、なり手不足や無投票の問題解決にはならない」、「民主主義を維持継続させるには相応の対価も必要であるということも考える必要がある」、「選挙があり投票の権利を行使するためにはなり手不足や無投票の問題に対して住民も一緒に魅力を感じる議会をつくる必要がある」と述べられました。報酬額を引き上げた議会の実例も示され、34万円以上に議員報酬を引き上げた町議会では選挙戦になり女性や若い世代の議員が誕生していること、30万円程度の中途半端な引き上げでは魅力的に感じない人が多く、なり手が現れなかった議会があることもわかりました。コンプライアンスについては、法令遵守だけでなく、倫理観や社会的規範を守りながら議員活動することの大変さが伝わったと思います。また、選挙についても、違反事例、逮捕事例などが示され、立候補者だけでなく選挙にかかわる住民として注意すべきことがよくわかったと思います。最後に、議会は、議員のみならず、対策で候補者の裾野を広げたいという思いがあります。町民のみならず一緒に議会のことを考えることは、地域民主主義を維持継続していくうえで重要なことなので、今回の経験を生かしながら、これからも町民のみならず一緒に考えていく取り組みを継続していきたいと思えます。

# 三方五湖 魅力アップ 重点施策

北陸新幹線敦賀開業効果の最大化を図るため、これまで投資してきた三方五湖の観光資源をさらに磨き上げるとともに、美浜の魅力を集約的にPRする。

## ◆三方五湖の湖面等更なる魅力アップ事業

938万2千円

開業後の誘客促進を見据え「天空」「湖面」「湖周」の3つの視点から情報を発信し、交流人口の拡大とともに、地域への波及効果・活性化につなげる。

### 【魅力アップ事業】

- 電池推進遊覧船の航路及び用途拡大
- キャラクターグッズの製作
- 三方五湖歴史探訪メニューの作成
- SDGs 教育旅行メニューの作成

### 【魅力発信事業】

- 観光プロモーション・情報発信
- ファミトリップ（観光業者等を現地に呼び）の開催
- エリア案内フラッグの製作
- スタンドパネルの製作
- 開業記念イベントの実施

## ◆三方五湖の湖面等更なる魅力発信事業

954万5千円



## 町民への安定的な福祉サービスの提供

### ◆福祉事業所等物価高騰対策支援事業 310万4千円

#### 【対象事業者】

- 介護保険サービス事業者……………6事業者
- 障がい福祉サービス事業者……………4事業者

#### 【対象期間】 令和5年10月～令和6年3月

- ◎スケジュール 令和5年12月……………周知開始
- 令和6年1月～2月……………補助申請受付
- 令和6年2月～3月……………補助金支払

区分	基準額
入所系サービス	施設の定員1人につき 14,000円
通所系サービス	施設の定員1人につき 4,000円
訪問系サービス	1事業所につき 29,000円

## 生活を守る！



令和5年度一般会計 12月補正予算

6億5,806万4千円

■美浜町の安心・安全を守るための新しい施策（補正後予算総額 99億8,719万3千円）

### ◆産業団地整備事業

4億614万9千円

若狭美浜インター産業団地整備事業実施に伴い活用した「福井県特別経済対策産業団地整備資金」が令和5年度末で10年間の償還期間を迎えるため、未償還額全額を償還する。

《現時点での進出企業》  
5社（残り3区画）



### ◆すまいるコミュニティ事業

3,626万7千円

芝生広場をまちと住民等が協働で整備し、地域住民のコミュニティの場として利用管理することにより継続的な地域愛の醸成につなげる。

【整備箇所】・総合運動公園空地……………8,100㎡  
・北西郷公民館グラウンド……………4,000㎡

【利用目的】スポーツイベント・遠足・ピクニック  
災害時の避難場所（テント設営等）

## タクシー&JR

## 新幹線開業記念

### ◆ウェルカム美浜タクシーラッピング事業

（公共交通運行事業）

【対象事業者】

- 町内タクシー事業者2社 10台分
- 2次交通の確保及び省エネタクシーの導入、車両ラッピングを支援。

603万6千円



### ◆乗ろうよ小浜線 利用促進事業

300万円

- ◎小浜線に乗って北陸新幹線を見に行こう！（北陸新幹線E7系見学会）
- 《対象》町内小学生・保育園児  
参加者には小浜線乗車券や記念品をプレゼント
- ◎「ガチャ旅」美方高校生と連携
- ◎HAMABERRY割引クーポン配布
- ◎駅前です！開業イベント開催  
マルシェやキッチンカーが出店



連郭曲輪群Ⅱ郭より本丸を眺める。後方は若狭湾



本丸跡



喰らい虎口が残る二の丸



本丸直下より「旧丹後街道」を臨む



居館跡の石垣



奉行所跡の石垣

# 議会活動 現地視察 12月13日



12月13日美浜町佐柿の国吉城に登りました。続日本百名城のひとつで美浜町の重要な観光資源です。当日は「若狭国吉城歴史資料館」館長大野康弘氏の解説で廻りました。戦国時代や江戸時代の在りし日の姿を思い浮かべながら山頂の本丸を目指します。さすがの急坂で朝倉勢も攻めるのに苦労したことが実感できました。本丸下のⅡ郭では眼前に広がる若狭湾に驚嘆し、本丸からの眺めは美浜町を一望できました。この地が若狭を守る重要な場所であることがよく理解でき、観光地としてもさらなる可能性を感じました。



江戸時代の町奉行所に立つ「若狭国吉城歴史資料館」

# 難攻不落の国吉城に立つ！

## 国吉城歴史メモ

国吉城は弘治2年(1556)に若狭守護武田氏の重臣、栗屋越中守勝久が越前朝倉氏の侵攻を防ぐため築いた戦国時代の山城です。国吉城が有名になったのは永禄6年(1563)から天正元年(1573)にかけて越前朝倉氏の侵攻を防いだ「国吉籠城記」を佐田の地侍、田辺半太夫が書き残したおかげです。越前国敦賀から何年にもわたり侵攻した朝倉勢を近隣の地侍や民衆の協力で撃退し、ついに一度も落城することなく「難攻不落」を誇りました。

元亀元年(1570)4月23日朝倉攻めのため織田信長が木下藤吉郎(豊臣秀吉)徳川家康らを従え国吉城に入城しました。4月25日天筒山城、金ヶ崎城を攻めたところで浅井長政の裏切りで頓挫。木下藤吉郎や徳川家康を殿にして撤退。この「金ヶ崎の退き口」は日本史の重要なエピソードとして有名。その後、国吉城は羽柴(豊臣)秀吉の家臣、木村常陸介定光が城下を整備し、江戸時代には国吉城は廃城となりますが、佐柿の町には町奉行所が置かれ、若狭地方の東側の重要拠点となりました。国吉城址は昭和58年(1983)に町の史跡に指定され、今後も国指定を目指しています。

# 常任委員会の動き

12月定例会では予算決算常任委員会に議案7件、総務文教常任委員会に議案4件、産業厚生常任委員会に2件が付託され、詳細な審議を行いました。



詳細な内容は議会ホームページをご覧ください  
<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>

## 12月定例会

### 予算決算常任委員会

議案第74号  
令和5年度美浜町一般会計補正予算(第5号)

**問** JR小浜線利用促進事業業務委託料300万円の内容は何か。

**回答** 小浜線利用促進のため、E-MARKETに来場者限定の割引クーポン配布や、北陸新幹線敦賀開業日に合わせたイベント、また町内の子どもを対象とした「小浜線に乗って北陸新幹線を見に行こうツアー」等を検討している。

**問** 子ども子育て支援事業計画を検討する上で資料となるアンケートの対象者は誰か。

**回答** 小学6年生までの保護者を対象とする予定で、紙ベースのアンケートとスマートフォンを活用したアンケート方法も取り入れ、回収率を上げようと考えている。

**問** 生産者販売チャレンジ支援事業135万円の内容は何か。

**回答** 道の駅にある直売所の手数料20%のうちの5%を生産者に補填して、直売所に出していただく方を増やす流れを作るために支援する増額である。

**問** 電池推進遊覧船の料金についてどのように考えているか。

**回答** 金額についてはDMOで設定していて、現在おとな1980円、子ども990円である。乗船された方からは金額相当の値打ちがある等の声があったと聞いている。今のところ美浜町民、若狭町民は半額で3月までは運行する予定である。

**問** すまいるコミュニティ事業の北西郷公民館グラウンドの芝張りには誰が行うのか。

**回答** 北西郷公民館運営委員会を中心に進める。

### 総務文教常任委員会

議案第81号

**問** 美浜町一般職の職員の給与に関する条例及び美浜町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 期末手当と勤勉手当の割合は人事院勧告に基づいて決めているが自治体の裁量で決めることが出来るのか。

**回答** あくまでも勧告なので、ある程度は人事院勧告に合わせるが国からは人事院勧告など社会情勢を踏まえて、職員の給与を決めるように指導されていると解釈している。

議案第82号

**問** 美浜町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 特別職の場合は勤勉手当がゼロで、期末手当の支給割合は0.05ヶ月になるがどのような考え方で期末手当の支給割合を0.10ヶ月上げているのか。

**回答** 今回の改定は、人事院勧告に基づく一般職の国家公務員の給与改定に準じた特別職の給与改定を踏まえたものである。国の特別職とは、内閣総理大臣や、国務大臣、副大臣などがこれにあたるが、特別職については、一般職と違い勤務成績を評価してその結果が反映される勤勉手当はない。国の特別職の期末手当は、一般職の期末手当と勤勉手当の支給割合4.5ヶ月の75%を目安にしていると聞いている。

### 産業厚生常任委員会

議案第85号

**問** 美浜町空き家等の適正な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 空き家を放置すると、固定資産税が6倍になるが、具体的にどのような状態になると摘要となるのか。

**回答** 特定空き家を未然に防止するという観点から、国が管理指針を告示し、それを放置すれば管理不全空き家となる。これに対して今後は市町村からの指導勧告が可能となる。これまでから勧告を受けた特定空き家は、住居利用が難しく、敷地に係る固定資産税の住宅用地特例が解除されていたが、新しい制度においても6分の1の特例が解除となる。

議案第86号

**問** 美浜町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 条例の中で人口三万人未満の自治体がこの条例の対象となる根拠は何か。

**回答** 総務省の通達により決められており公営企業の適正な推進として令和6年4月1日までに公営企業会計に基づく管理に移行していることが要件となっている。

**問** 公営企業会計の適用によって会計処理や財務管理等で職員の事務処理負担がどのようになるのか。

**回答** 官庁会計は現金の収入と支出のみであったが、公営企業会計に移行すると現金の収支、資産の移動、費用・収益の発生による会計処理、原価償却費、長期前受金戻入等の非現金の支出も計上することになり、事務量の負担は増える想定している。

# 第6回 美浜町議会定例会 議案

12月定例会では、議案1件が追加提出されました。

議案番号	件名	委員会付託	議決結果
議案第74号	令和5年度美浜町一般会計補正予算（第5号）	予算決算	可決
議案第75号	令和5年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		可決
議案第76号	令和5年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		可決
議案第77号	令和5年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）		可決
議案第78号	令和5年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算（第3号）		可決
議案第79号	令和5年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）		可決
議案第80号	令和5年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算（第2号）	総務文教	可決
議案第81号	美浜町一般職の職員の給与に関する条例及び美浜町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第82号	美浜町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第83号	美浜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生	可決
議案第84号	美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第85号	美浜町空家等の適正な管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第86号	美浜町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	可決
議案第87号	令和5年度美浜町一般会計補正予算（第6号）		可決
発議第3号	美浜町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議会改革	可決

※略称 〈予算決算〉…予算決算常任委員会 〈総務文教〉…総務文教常任委員会 〈産業厚生〉…産業厚生常任委員会  
〈議会改革〉…議員報酬など議会改革特別委員会

## 賛否が分かれた議案

議席順に掲載（○賛成×反対一欠席□退席）し、反対または退席等があった議案だけ載せています。  
※議長（山口和治）は採決に加わりません。

議案番号	幸丈	兼田	中牟田	上道	高橋	梅津	河本	辻井	川畑	松下	嶋元	藤本	竹仲
議案第74号	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○
発議第3号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×

## 討論概要

### 〔12月定例会〕

#### 議案第74号 令和5年度美浜町一般会計補正予算(第5号)

##### ●反対討論

商工費の三方五湖ゾーン活性化事業の中に、電池推進遊覧船の運行負担金570万円が計上されている。指定管理者の当初の想定よりも大きな負担金が発生していることについては行政からの赤字補填にしか見えない。赤字額の拡大は、指定管理者の運営の責任ではなく、利益を出すことが難しい「ハコ」であることが原因である。維持管理費が高く運営コストが大きい、乗船客が想定以下で採算が見込めない「ハコモノ」に、負担金や委託料などを名目に予算を投入し続けても、町民サービスに使えるお金を無駄に浪費するだけだ。（河本議員）

#### 発議第3号 美浜町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

##### ●反対討論

この改正案は美浜町議会議員の期末手当の支給割合を一般職職員と同等の支給割合の4.5ヶ月とするものだが、我々議会は特別職の職員で非常勤のものであり、比較するのであれば、まず特別職の職員で常勤のものすなわち町長や副町長は今回3.4ヶ月となるが、この支給割合との比較をするべきであり、我々議員は特別職の職員で非常勤であることを考

えなければならぬ。一般職員のボーナスは期末手当分と勤勉手当分があり、町長は期末手当だけの支給対象で、勤勉手当分を対象にしていない。常勤の町長が勤勉手当分を支給していないのに、非常勤の議員だけが勤勉手当分も合わせて支給することはおかしいと考える。国の総理大臣も期末手当分だけで勤勉手当分は支給されていない。

全国では、議員の期末手当を4.5ヶ月にしている市町は少しあるが、これらの市町は常勤の市長や町長も同月の4.5ヶ月であり、市長、町長と議会の支給割合を合わせている形になっている。美浜町の場合、町長は3.4ヶ月に対し美浜町議会議員はそれを超えて4.5ヶ月にしようというものでそのような市町村議会が私を調査した中で一つもなかった。今回の改正は住民感覚とかなりずれていると思う。我々議会はあくまでも特別職の非常勤であり、特別職の常勤のもの期末手当月数を超えることはあってはいけない。（竹仲議員）

##### ●反対討論

今回の改正内容は、人事院勧告を参考に議員の期末手当の年間支給割合を3.1ヶ月から4.5ヶ月に引上げ、行政一般職の職員に合わせると有るが、美浜町議会基本条例では議員の報酬を改正する場合、行政改革の視点だけでなく、町政の現状及び課題を十分に考慮するとともに、町民の意見等、総合的な観点から決定するものと議会基本条例に規定されている。

改正理由について議員はもとより、町民が理解できる明確な理由を義務付けているため、安易に期末手当の支給割合を上げるのではなく「議員報酬など議会改革特別委員会」の設置目的である、議員のなり手不足対策、並びに議会の資質魅力を高める環境を整備するための発議をすべきと考える。

また、議員は非常勤の特別職であり勤勉という概念はないことから期末手当に勤勉手当を含めて支給できないため、非常勤の議員には、当てはまらないものである。

また、嶺南2市3町は3.0〜3.3ヶ月であり、これらとの格差が広がり町内外からの批判も予想される。

期末手当の支給割合は良識の範囲内に留め、我々町議会議員は町民の福祉向上に寄与すべきと痛感し、発議第3号に反対する。（梅津議員）

##### ●賛成討論

美浜町議会の議員は、国会議員や地方行政の執行部の歳費や給与のように高くはなく、ボーナスの支給額も民間や行政職員の平均よりも下であるので、歳費・給与、ボーナスの支給額が民間や行政職員よりも高い国会議員や大臣、町長部局とは別のプロセスが必要である。

まずは、少しでも民間や行政職員レベルに近づけることを目標に、そのプロセスを進んでいくべきだと考えるので、議員のボーナスの年間支給割合を民間や行政職員と同等の4.5ヶ月に引き上げるべきだ。

議員の活動量は確実に増えている

し、議会は以前にも増して活性化している。この流れを、議員のなり手不足対策や議会の見える化など、より良い議会改革、議会の魅力アップに結びつけるためには、議員の活動を現実的に保障していく必要がある。

##### ●賛成討論

議員の報酬が町長や一般職員などの賃金と比較して低いことは私も実感しています。人事院勧告に沿って議員報酬を決めていけば議員報酬は上昇していたと思えますが、景気によつては低くなる場合があると考え、勧告に沿わなかったようです。議会ではここ数年間にわたり報酬を上げる議論をしてきました。月額10万円を超える案が出来上がりましたが、私は反対しました。町民の常識を外れていると指摘しました。その案は審議会で否決されましたので、別途「期末手当の増額」を議会に発議することになりました。その案には私は賛成しました。若い議員もいて議会活動を頑張っているからです。私は議員報酬を上げることには反対していません。議員報酬は町税から支払われます。年間1億円弱になります。議員報酬を上げるなら、議員定数を少なくするべきだと考えています。町の人口が激減しているのに議員定数を下げなければ、選挙になりません。これはまずいですね。議員のなり手不足といいますが、議員定数が多いからだといは考えています。（松下議員）



### 新幹線敦賀開業の準備状況は

**問** 来年3月の開業に向けて行われた各種事業は、町に賑わいと豊かさを取り戻すためだが、現在の準備状況と課題をどう認識しているか。

**町長** 観光資源・誘客・二次交通・宿泊・食等の整備と魅力アップに努め概ね整備できた。今後ともお客の動向や意見を検証しながら、特に周遊・飲食の拡大に努めた。

### 顧客の意見を反映できる仕組みを

**問** 絶えず変化する社会にあつて現状維持・踏襲は退歩であり、常に改善が不可欠である。新幹線敦賀開業を契機に、各地で施設やイベントが創られたが、同時に地域間の競争も始まっており、



### ① 学校給食の無償化についてどのような考えを持っているのか！

**答** 現時点では無償化するのではなく、家計負担を増やさない努力をする。

**問** 学校給食の無償化について、子どもたちの食育や保護者の負担軽減、給食費の滞納をめぐる様々な問題などを踏まえ、学校給食の無償化を求めて、各議員が一般質問などで取り上げてきた。

教育長は学校給食の無償化について、どのような考えを持っているのか伺う。

**教育長** 国が今年6月にまとめた「こども未来戦略方針」の中で、国で学校給食の

「変化する顧客ニーズをつかみ迅速に反映できる強い仕組み」が必要と思うがどうか。

**観光誘客課長** こるば・レイクセンター・はまびより等で、モニターリング・アンケート・口コミ等を活用して、利用者目線で取り組んで欲しい。

**意見** 他の市町と同じでは力にならない。「改善こそが最重要」「そこに時間とお金をかける」覚悟で取り組んで欲しい。

### 防災・技術統括幹の考えを伺う

**防災・技術統括幹** 行政の技術系職員の確保・育成が広く求められるなか5月に赴任し、設計積算・測量・災害現場の確認等、技術力の底上げに努めている。住民や職員との意識の共有のため、仕事を離れた行事にも参加してきた。河川の突発出水の監視・集落避難所の危険区域解消・上下水道の強靱化・滋賀県への避難道路整備等、県とも連携して進める。

**意見** 統括幹の役割ではないかも知れないが、町の

DX推進こそが急務と思うのでご尽力頂きたい。

### こども政策統括幹の考えを伺う

**こども政策統括幹** 「関係課長によるこども・子育て政策会議」を新設し、「保護者と子育て関係者による町のこども・子育て会議」と連携して推進しているが、①保育・放課後クラブの人材確保②登下校時の安全確保③地域ぐるみの子育て応援が3大課題である。また「若手職員による子供の遊び場ワークチーム」を立ち上げており、目的・課題の共有等、組織横断の効果を感ずる。

**意見** 国の異次元の人口減少対策が全国一斉に始動するが、美浜に住み・美浜で産み・美浜で育てたい若者をいかに確保するかの総合力が問われる。成果を期待したい。

### 新教育長の所信を伺う

**教育長** まずは総合振興計画・教育大綱・教育振興基本計画に掲げる目的・目標の実現を着実に推進する。活力の源泉となる人づくりは町の

総合力であり、町長部局とも連携して取り組む。激動する時代であるが、教育が自己実現の支えになり、また美浜に住みたいという地域愛の醸成のためにも尽力する。

### 美浜シナプスプロジェクトの狙いは

**意見** この機に要望2件を特にお伝えするのでご検討頂きたい。①グラウンドゴルフ場の東屋増設②栗屋勝久公墓石と参道の整備

### 美浜シナプスプロジェクトの狙いは

**問** 昨年末の提示から凡そ半年でスタートしたが、その狙いは何か。

**まちづくり推進課長** 駅前から役場にかけてのゾーンを中心に、幅広い世代が交流する場を設け、その交流の積み重ねから学びと挑戦を生み出し、町の活性化につなげたい。今年度は子供の遊びや生活の場を提供し、健全育成等につなげたい。

**意見** 行政主導で拙速に進んだ感がある。なぜこのタイミングかも理解できない。町民への説明と改善を重ねて有効な施策に育てて欲しい。

### 町民アンケートを実施すべきでは

**問** 3年間のコロナ感染症は社会に大変革を及ぼし、その間に勃発したウクライナ戦争等は暮らしの重圧になっている。そのためか全国市町で行政による住民アンケートが行われている。当地域は新幹線敦賀開業に向け町職員をはじめ関係者の大変な取り組みが続く、そうした社会変化に十分対応できていない感がある。町の針路を再確認するため、町民アンケートを計画すべきと思うが。

**まちづくり推進課長** 各種まちづくり計画に際しては、町民の意向を反映させるべく努めており、今後もそうした意識で取り組む。

**意見** 人口減少・高齢化も進段の維持が大きな課題である。困難な時代であるが、常に住民と会話し意思を確認しながら進めるのが重要だと思う。

**問** レイクセンターは、秋に2隻目の電気推進遊覧船が運航し始めたが、2隻の遊覧船を維持しようとすれば、それだけ運営経費の負担も重い。現時点で、それをペイできる集客と収益が見込める状況になっているのか。

**意見** 赤水が出るような状況が続くと、行政に対する不信感が増す。こういった事象が発生しないように、しっかりと老朽管などの取替え、インフラの再整備を行ってほしい。

### 観光誘客課長

現在の状況では、収益に対しての収支は、経費が多くてバランス的

**意見** レイクセンターの運営については、議会や町民も厳しい目で見ていて、うことを忘れないでいただきたい。

### ② 水道水の濁りの原因は何か！

**答** 水道管接続箇所破断による漏水が原因。

**問** 11月3日に久々子区において水道水の濁りが発生したが、原因は何か。

**上下水道課長** 早瀬地区で発生した水道管接続箇所の破断による漏水が原因だと考えている。破断箇所から水道管内を流れる水の速さや方向が急激に変化したことが



### ③ 集客と収益が見込める状況になっているのか！(レイクセンター、電池推進遊覧船)

**答** 収益に対しての収支は、経費が多くてバランス的に悪い状態にある。



梅津 隆久 議員

### 小中学校での児童・生徒の「いじめ問題」について

**答** 学校の対策要望に善処しながら全県下の課題としてスクールカウンセラー・ソーシャルワーカーの更なる人材の確保、配置の拡充を県に對して、しっかりと要望していきたい。

**問** 十一月文部科学省が公表した二十二年全国

小中高、特別支援校における「いじめ認知件数」は六十八万九千四百八十八件と過去最多に上ったと報道されている。県内では前年比四十八件減少したものの千三百七十二件で重大事態は三校確認されている。

るが我が町は「第五次美浜町総合振興計画後期基本計画」で学校教育の充実が掲げられ児童生徒の心身の健全育成を施策として、しっかりと運営しているが近年いじめ問題の報告実績があるのかお伺いする。

**教育総務課長** 町内小中学校からは毎月「いじめ」の状況等

に関する調査報告を受けており今年度は「冷やかしかや悪口等」で三件発生しているが既に解決されていると報告を受けている。

**問** いじめに対する要因分析と対策について行政として実践すべき事項があればお聞きしたい。

**教育総務課長** 福祉教員を小中学校に配置し人権教育の視点を持ちながら、いじめ等の未然防止教育活動を展開しさらに「いじめ防止基本方針」を策定し「思いやりや互いに認め合い学び合う心など一人一人の成長と仲間と支え合うことのできる集団の育成」を目指している。また、教職員個人で判断せず「いじめ対策委員会」への報告や定期的なアンケート調査や教育相談の実施等により児童生徒が訴え易い体制の充実と各学校における校内研修等で、「いじめの対応や特質、原因、背景」をフォローし具体的な指導上の留意点などについて全教職員

**問** 美浜中教員に、いじめ問題に対する取組みをお聞きしたところ教職員は「積極的に、いじめを見つけに行く」というスタンスを取っている。また、「いじめは有るものとして注視している」また、「ネット上でのいじめ問題は発見しにくい」と言われていましたが美浜町行政は手厚い防止対策がとられているとの見解でした

の共通理解になる様、努めて対応や特質、原因、背景」をフォローし具体的な指導上の留意点などについて全教職員

**教育総務課長** スクールカウンセラーを配置し各学校を巡回し児童



生徒の不安や悩み事の相談に応じたり、教職員、保護者に対する助言等を実践している。今日の学校教育現場では、いじめ・不登校等様々な家庭環境に応じた保護者への対応など複雑化、多様化する諸問題の解決には教職員の負担増加傾向にあることは認識している。学校への対処やサポート活動の拡大等を図り、教職員の負担軽減を考えていきたい。



兼田 和雄 議員

### 介護現場の人員不足をどう解決するのか

**答** 介護人材の持続的な就業に向けて奨励金制度を創設

**問** 親の介護のため介護職する人が増えている。年間10万人にも達すると言われている現状で行政の支援体制はどうなっているのか。

**町長** 本町の高齢化率も約38%となり、健康寿命の延伸に向けた施策を進めている。事業所の物価高騰対策や、介護従事者の負担軽減のため介護ロボットの導入支援にも取り組んでいる。

**健康福祉課長** 介護施設の職員の増員については、高齢者が補助的業務を短時間就労するちよこつと就労や海外からの介護技能実習生の受け入れを行っている。

**問** 人員不足の折には要介護者はすぐには動けない。広域的な災害が起こった場合は平時時では出来る避難も、災害時は難しいと思う。介護施設の避難計画等は充分されているのか。

**健康福祉課長** 避難訓練は各施設で、年2回行っており、職員体制、緊急連絡、避難方法の実効性について町の指導、助言をしている。

**問** 介護現場において町民の方からのナマの声をお聴くことは非常に大事である。町職員がダイレクトに聞く必要があるのではないのか。

**健康福祉課長** 事業所の円滑な業務を支援するため介護保険サービス事業者連絡会、介護支援専門員連絡会等を、介護事務局になって定期的に開催し、相互の情報交換を行っている。地域包括センターが介護事業所に出向き利用者との聞き取りや、事業所ごとの運営推進会議にも出席し助言や指導を行っている。

**生涯学習推進課長** 「ジュニア司書養成講座」は定期的に開催し、新たに移動図書館事業

**情報社会で子供たちの知育を育てる読書体験が不可欠。その為の学校司書が必要**

を活性化する。さらに、視覚障害のある方のためサビエ図書館の導入や点字図書、録音図書のデータ活用に取り組む。

**問** 2012年から学校司書の配置に必要な地方交付税を配布し、22年からは小中学校1.3校につき1名配置するため毎年24.3億円の財政措置を行っているが、町ではその交付金をどのように使っているのか。

**教育総務課長** 学校司書の配置と図書の購入、複数の新聞配備等で活用している。図書購入費は182万4千円で全国平均よりも大きく上回っている実績がある。また、教育に新聞をといてNIEの実践指定校として認定されている。

**生涯学習推進課長** 「ジュニア司書養成講座」を始め「なびとしよ」の今後の取り組みを伺う。

**観光地であるのに大型バスの駐車場やトイレがないというインフラの不備**

**答** 現状1万人に達するペースで増えているが対応できている。

**問** 現在、城ブームになっており嶺南の各お城も観光客が増えており、新幹線開業と共にさらに増えると言われている。この美浜町でも国吉城・徳賞寺を中心とした観光コンテンツはより力を入れていかなければならない。しかしながら、トイレをはじめとした上下水道の問題や、観光バスを受け入れる駐車場の問題がある。町が責任を持って処理しなければならないのでは。

**上下水道課長** 佐柿区の集落排水区域をそのまま公共下水道区域としている関係

上、若狭国吉城資料館と徳賞

寺は区域に編入していない。平成元年から5年次は居住実績がないため整備されなかった。受益者負担も発生するので費用対効果も考え検討していく。

**教育総務課長** 観光客が利用している駐車場は資料館に10台、徳賞寺との共用で25台、さらに民間の敷地を借り上げた50台分の駐車場がある。乗用車や中型バスの利用が多いため余裕を持って対応出来ている。今後も佐柿区と一般社団法人佐柿国吉100年プラン推進委員会と協議を重ね歴史的景観を生かしたまちづくりを進めたい。

**意見** 今、許容量を超えた観光客が押しかけて、地元住民の生活が困難になっている。オーバートリズムという問題がある。将来に備え今からしっかりと環境を整え、対策を練っていかねばならない。



議員 上道 正二

**①チョイソコみはまの充実強化について**

**答** 町民の足となる公共交通は、所管課が把握している情報を共有し連携を図りながら公共交通を目指していく。

**問** 現在、チョイソコの運賃が300円から200円になっていると思う。運用条件を見ると、以前より利用者数が伸びているという答えがあった。実態をどのように見ているのか、行政の考えを伺う。

**住環境課長** チョイソコみはまの利用者数は、6月の運行開始以降、5か月間で約4,700人となっている。5か月間の利用者数を昨年の同時期と比較すると、約3割増となり、順調に利用者数が増えている。

**問** 3系統あったバスが2台となり、日向線と新センターなびあすまでのエリアをにぎわいゾーンと定め、そこに学びと挑戦、優しい回遊空間、共創の3つのテーマの施策を実施することで、にぎわいの創出を目指すものである。そのために、美浜町最大の新お祭りイベントとして、「美浜つながるフェスタ」を開催したが、その成果を伺う。



議員 川畑 忠之

**答** 新たな人の流れやにぎわいが生まれたことから、目的達成につながる成果や課題が得られた。

**①美浜町のにぎわい創出事業計画について**

**問** 美浜町にぎわい創出事業計画は、美浜町がまちの中心部である、美浜駅周辺のにぎわいを創出するための事業計画である。

この事業計画の愛称は、美浜町シナプス計画と呼ばれている。

この計画は、道の駅若狭美浜はまびよりを核として、JR美浜駅から美浜町生涯学習

庄線に予約があり、丹生線の予約を断られた事象が発生している。このような事象が発生していることを認識しているのか。

希望に合わない場合は予約不成立となり、運行当初の6月は20件あった、翌月以降は徐々に減少しており、10月は7件で予約数に対する割合は約0.8%となっている。

今後も極力、不成立が発生しないよう、早めの予約を勧める方法等の周知に努めている。

**住環境課長** 現在2台のバスで運行しているが、丹生線の予約は断られる事象が発生するので、3台に戻す考えはないのか。

**問** 予約不成立のうち、当日予約される方の割合が多い状況にある、周知することで予約不成立の割合は、6月当初に比べ徐々に減ってきている状況。乗り合い率は、6月から10月の平均で1.41人となり、おり、運行時に1人の送迎になることが多いことから、現状で2台のバスで運行しているのか。

**住環境課長** 予約不成立のうち、当日予約される方の割合が多い状況にある、周知することで予約不成立の割合は、6月当初に比べ徐々に減ってきている状況。

美浜つながるフェスタを実施し、新たな人の流れやにぎわいが生まれたことから、目的達成につながる成果や課題が得られたと考える。

**町長** 美浜つながるフェスタは、美浜駅からなびあすまでの一帯をにぎわいゾーンとして、誰もが楽しく集い、交流が進む活性化の拠点を目指しており、美浜駅や駅前広場の整備、道の駅、観光農園等の施設を整備してきたところである。

この施設の機能を生かしながら、相互連携による回遊性に富んだ利活用が進めば、新たなにぎわいの創出につながるものと考えている。

その取組として、今回、町民主体の発想、企画による、

時点では車両2台でおおむね順調に運行しているものと考えている。

**問** 高齢者のことや町民の安全性、利便性を考えると、ステップがついていない車両についてはステップをつけるべきだと考えるが、どうしてつけないのか。

**住環境課長** 車両は、町の所有ではなく各運行事業者の所管となっている。修繕等は事業者の負担となっている。意見を受け、事業者にはステップをつけるよう引き続き要望していく。

**②途中退職者、休職者の状況はどのようになっているのか**

**答** 個人的な事情など様々であるが、退職者は年平均5名であり、年によって変動がある。

**問** 役場の過去10年ぐらいの途中退職者数はどのようになっているのか。

**総務課長** 早期退職者は個人的な事情など様々で、年によって変動があり、年平均5名程度となっている。

休職者の状況はどうなっているのか、仕事・職場環境によるものや、産休などに分類し、課題について対応できているのか伺う。

**総務課長** 育児休業によるものや病気等の事由により休職している職員がいるが、休職事由の把握はできていない。休職者に対しては、月に1回程度連絡を取り、職員の状況の確認と把握に努めている。

**問** 休職者の状況はどのようになっているのか。

**答** 個人的な事情など様々であるが、退職者は年平均5名であり、年によって変動がある。

**問** 地域のデマンド交通が、6月から実証運行がスタートした。この「チョイソコ」は、利用者が家からすぐ乗れるようになったために評判がいい。しかし、停留所の設置場所は、降りた場所以から長い区間を歩いて目的地まで行かなければならない不満がある。なぜ、住民が要

**②地域高齢者の足であるデマンド交通実証運行によるチョイソコの停留所増設について**

**問** 地域のデマンド交通が、6月から実証運行がスタートした。この「チョイソコ」は、利用者が家からすぐ乗れるようになったために評判がいい。しかし、停留所の設置場所は、降りた場所以から長い区間を歩いて目的地まで行かなければならない不満がある。なぜ、住民が要

昨年度の休暇の取得状況については、年休が8日間、夏季特別休暇が2.5日であり、取得日数は年々増加している。

**③JAマーケットの跡地利用はどのようになっているか**

**答** マーケットの経営は困難であり、民間投資は受けられない。

**問** 町としてJAマーケットに代わる企画を提案する考えはないか。

**産業政策課長** JAに確認したところ、マーケットではかなり前から赤字となり、経営が厳しい状況が続いており、経営改善に努めてきたものの、経営が困難との判断により閉店に至ったというふうに聞いている。

望する場所に停留所設置は出来ないのか伺う。

**住環境課長** 町は地域全体で守り育てる持続可能な公共交通を目指している。

停留所は、現時点で町内127ヶ所に設置していて、公共施設やバスの停留所を基本とし、町民や運行事業者、行政など、地域の関係者で協議し決定をしている。また、各区の要望や利用者アンケートでの意見を踏まえて、11月に地域公共交通会議で協議した結果、新たに5か所、停留所設置の承認を得ている。今後も、町民、利用者、事業者など、地域の声を聞きながら、利便性の向上を目指して、さらに多くの方に利用いただきたい。

望する場所に停留所設置は出来ないのか伺う。

**住環境課長** 町は地域全体で守り育てる持続可能な公共交通を目指している。

停留所は、現時点で町内127ヶ所に設置していて、公共施設やバスの停留所を基本とし、町民や運行事業者、行政など、地域の関係者で協議し決定をしている。また、各区の要望や利用者アンケートでの意見を踏まえて、11月に地域公共交通会議で協議した結果、新たに5か所、停留所設置の承認を得ている。今後も、町民、利用者、事業者など、地域の声を聞きながら、利便性の向上を目指して、さらに多くの方に利用いただきたい。



令和6年 美浜町20歳のつどい



美浜町を  
背負って立つ!!



わこうど

若人の未来に幸あれ!

1月7日なびあすで「令和6年美浜町20歳のつどい」が行われました。艶やかな和服に身を包んだ女性陣や凛々しい表情の男性陣が集いました。皆、久しぶりの邂逅に笑顔で会話に花が咲きました。  
恩師とも旧交を暖め、和やかな雰囲気にも包まれていました。  
美浜町の将来を担う若者たちに幸多かれ!



編集後記

能登半島地震や航空機事故等、多難な年明けとなりましたが、町民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。本年は新幹線敦賀開業の年でもあり、福井県にとっては観光元年ともいわれています。東京から乗り換えなしで敦賀まで来られるのは関東近辺に住む人たちにとってはこれまで以上に福井県を身近に感じられ、魅力的な観光地になるでしょう。そのチャンスを生かすためにも行政ともども議会も努力いたします。  
議会の広報委員も今回の「議会だより」で任期が切れます。次号からは新しい広報委員でお届けいたします。今までありがとうございました。委員一同

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 兼田 和雄
- 【副委員長】 中牟田 春子
- 【委員】 竹仲 良廣・崎元 良栄  
川畑 忠之・河本 猛  
梅津 隆久